

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 1月 9日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 村 上 眞 基

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 2月 5日 午前 9時00分から 令和 8年 2月12日 午後 4時30分まで
開札期日 場 所	令和 8年 2月19日 午前10時00分 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日 場 所	令和 8年 3月12日 午前10時00分 岡山地方裁判所第3民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 1月 9日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～5	7, 539, 000 6, 031, 200	一括	1, 510, 000	71, 174	0
1	574, 000				
2	665, 000				
3	826, 000				
4	665, 000				
5	4, 809, 000				



物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909番7
地 目 宅地
地 積 71.62平方メートル
- 2 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909番31
地 目 宅地
地 積 83.01平方メートル
- 3 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914番1
地 目 宅地
地 積 103.66平方メートル
- 4 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914番5
地 目 宅地
地 積 83.33平方メートル
- 5 所 在 倉敷市生坂字野宮1914番地1、1914番地5
倉敷市生坂字木船1909番地7、1909番地31
家屋 番号 1914番1
種 類 居宅



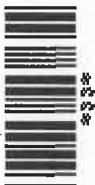
物 件 目 録

構 造 木造瓦葺 3階建

床 面 積 1階 121.03平方メートル
2階 105.06平方メートル
3階 13.66平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 121.03平方メートル
2階 約 88.46平方メートル
3階 約 32.36平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年11月 6日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 村 上 眞 基

1 不動産の表示

【物件番号1～5】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～5】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号5】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意

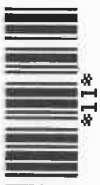
味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物件目録

- 1 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909番7
地 目 宅地
地 積 71.62平方メートル
- 2 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909番31
地 目 宅地
地 積 83.01平方メートル
- 3 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914番1
地 目 宅地
地 積 103.66平方メートル
- 4 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914番5
地 目 宅地
地 積 83.33平方メートル
- 5 所 在 倉敷市生坂字野宮1914番地1、1914番地5
倉敷市生坂字木船1909番地7、1909番地31
家屋 番号 1914番1
種 類 居宅



物 件 目 録

構 造 木造瓦葺3階建

床 面 積 1階121.03平方メートル
2階105.06平方メートル
3階 13.66平方メートル

(現況)

床 面 積 1階121.03平方メートル
2階約88.46平方メートル
3階約32.36平方メートル



令和7年(ケ)第91号
令和7年9月12日受理
令和7年10月 日提出

現況調査報告書

岡山地方裁判所

執行官 石 岡 伸 治

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909 番 7
地 目 宅地
地 積 71.62 平方メートル
- 2 所 在 倉敷市生坂字木船
地 番 1909 番 31
地 目 宅地
地 積 83.01 平方メートル
- 3 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914 番 1
地 目 宅地
地 積 103.66 平方メートル
- 4 所 在 倉敷市生坂字野宮
地 番 1914 番 5
地 目 宅地
地 積 83.33 平方メートル
- 5 所 在 倉敷市生坂字野宮 1914 番地 1、1914 番地 5
倉敷市生坂字木船 1909 番地 7、1909 番地 31
家屋 番号 1914 番 1
種 類 居宅



物 件 目 録

構 造 木造瓦葺3階建

床 面 積 1階121.03平方メートル
2階105.06平方メートル
3階 13.66平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件1ないし4		
現況地目	☒ 宅地(物件1~4) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項	☒ 物件1ないし4の各土地は、一体画地として、物件5の建物の敷地となっている(土地建物位置関係図参照)。		
建物	物件5		
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる(☒ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☒ 床面積: 2階: 約88.46㎡, 3階: 約32.36㎡		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を家族と共に住居として使用している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
☒ A (所有者)	1 物件5の建物（以下「本件建物」という。）には、私と子供1人の計2人で住んでいます。 2 本件建物につき、何人とも賃貸借関係はありません。 3 本件建物を増築したことはありません。なお、本件建物の2及び3階部分は法務局備え付け建物図面の形状と相違しているようですが、新築当初から、現在の状態です。 4 本件建物につき、経年による老朽化はあると思いますが、特に雨漏り等の大きな損傷箇所に気付いたことはありません。 5 本件建物内で、猫を一匹飼っています。 6 物件1ないし4の各土地（以下「本件各土地」という。）と隣接土地所有者との間で境界等について特に争いはありません。 以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本件建物の外観及び本件各土地の状況は、写真1ないし3のとおりである。
- 2 本件建物内の状況は、写真4ないし18のとおりである。
- 3 本件建物は、関係人の陳述のとおり、所有者とその家族が居住していることが認められた。
- 4 本件建物は、関係人の陳述のとおり、2及び3階部分が法務局備え付け建物図面と形状等が相違していることが認められたので注意されたい（建物間取図参照）。
- 5 その他、本件各土地建物は、関係人の陳述に沿った状況がうかがえ、その他第三者の占有はうかがえない。
- 6 間取り
別紙建物間取図のとおり
- 7 接面道路
本件各土地の南から東側部分が市道に接しているが、大部分は市道との間に段差が存し、市道への出入りは東側一部分からしている（土地建物位置関係図、写真1ないし3参照）。

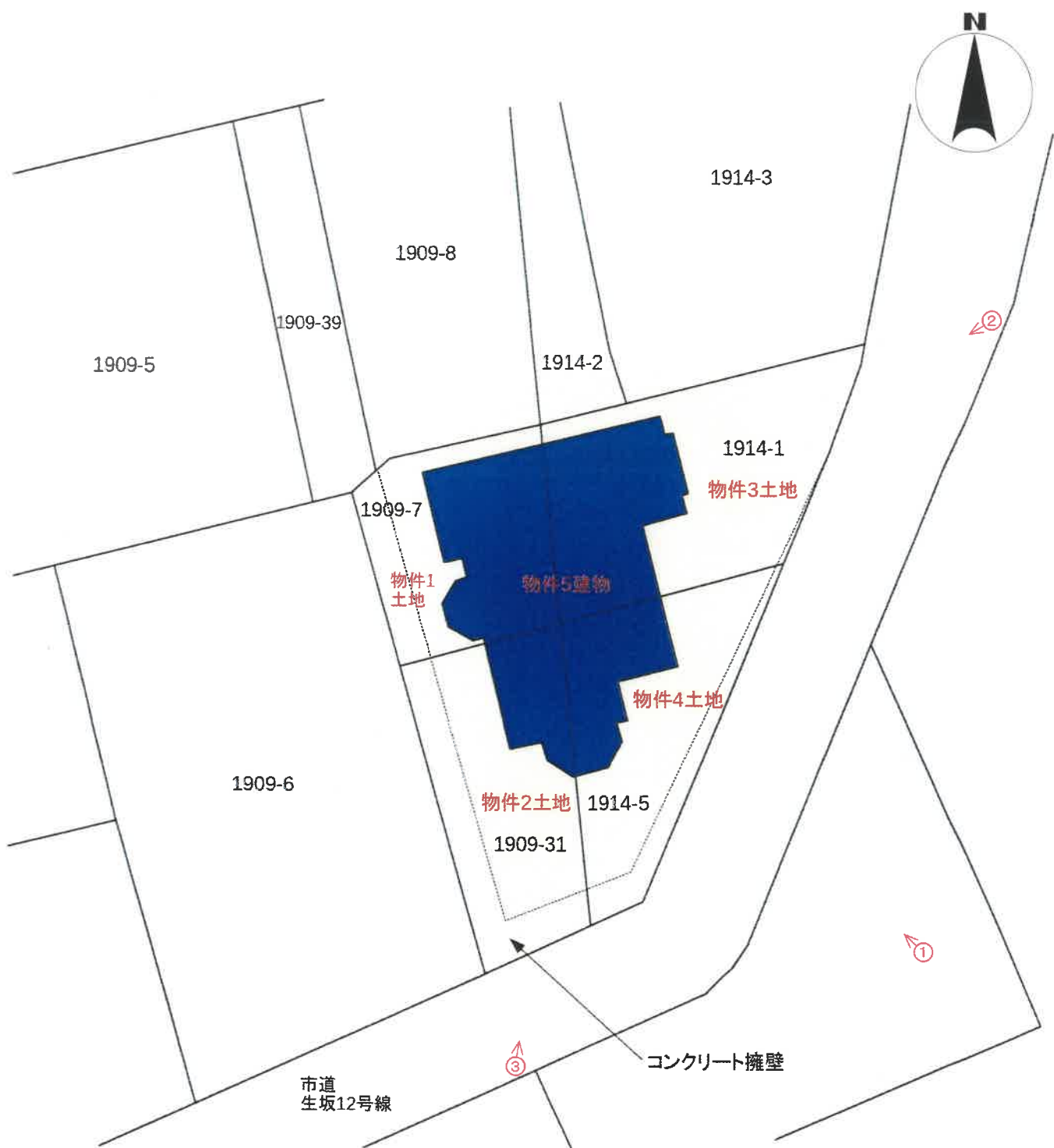
以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年9月16日(火) 14:45-15:20	岡山地方法務局 倉敷支局	公図閲覧, 地積測量図, 建物図面, 登記事項要約書交付申請
7年9月16日(火) 15:40-16:15	物件所在地	物件確認, 占有調査, 形状調査, 写真撮影
7年9月17日(水) : - :	当庁執行官室(郵便)	所有者に対し求陳 ス 切 9/26 (郵券110+110)
7年9月30日(火) : - :	当庁執行官室(郵便)	立入調査期日通知 10/8 11:00 再度, 求陳書同封(郵券110+110)
7年10月8日(水) 10:40-12:00	物件所在地	評価人同行, 立入調査, 占有調査, 形状調査, 写真撮影 Aから聴取
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

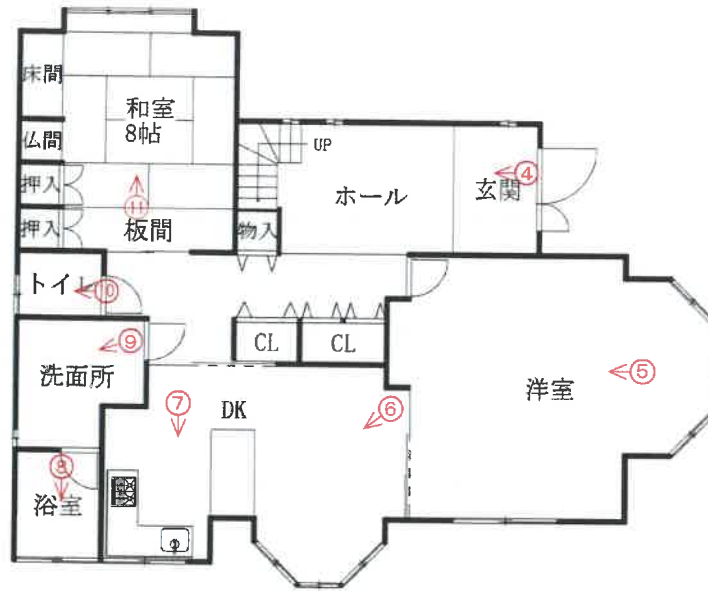


印は写真撮影位置
方向写真番号

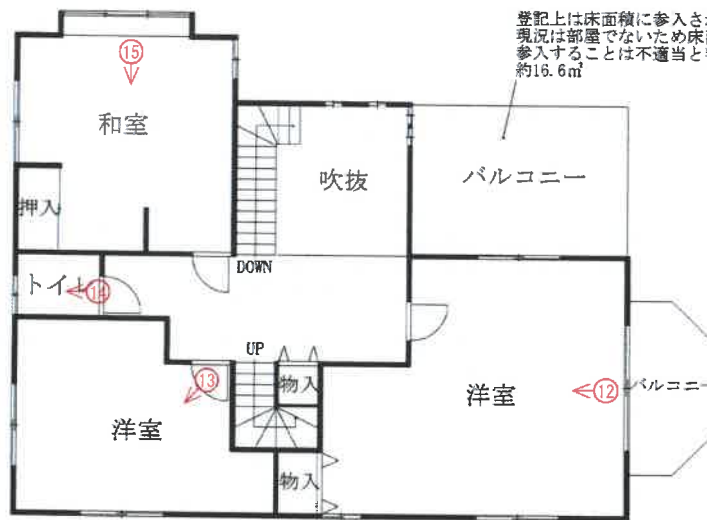
本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない

建物間取図

(物件5建物)

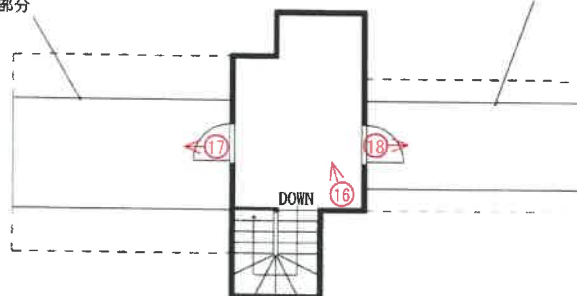


1階



2階

ロフト部分
登記上は床面積に参入されていないが
床面積に参入することが
適当と判断した部分
約10.4㎡



ロフト部分
登記上は床面積に参入されていないが
床面積に参入することが
適当と判断した部分
約8.3㎡

3階

↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

(8枚目)

写真 1

物件 5

物件 2 付近



市道

写真 2

物件 5

物件 4 付近



市道

物件 3

写真 3

物件 5

物件 1 付近



物件 2

市道

写真 4



写真 5



写真 6



写真7



写真8



写真9



写真1 0



写真1 1



写真1 2



写真1 3



写真1 4



写真1 5



写真1 6



写真1 7



写真1 8



評 第 1277 号
令和7年 (ケ) 第 91 号
令和7年10月8日 現地調査
令和7年10月21日 評 価

岡山地方裁判所 第3民事部 御中

評 価 書

評価人 浮田 幹夫

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～5)	土地建物	金 7,539,000 円
内訳価格	1	土地	金 574,000 円
	2	土地	金 665,000 円
	3	土地	金 826,000 円
	4	土地	金 665,000 円
	5	建物	金 4,809,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不具合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地 番地 目録 積	倉敷市生坂字木船 1909番7 宅地 71.62 m ²	概ね同左。
2	土地	所在地 番地 目録 積	倉敷市生坂字木船 1909番31 宅地 83.01 m ²	概ね同左。
3	土地	所在地 番地 目録 積	倉敷市生坂字野宮 1914番1 宅地 103.66 m ²	概ね同左。
4	土地	所在地 番地 目録 積	倉敷市生坂字野宮 1914番5 宅地 83.33 m ²	概ね同左。
5	建物	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	倉敷市生坂字野宮1914番地1、 倉敷市生坂字野宮1914番地5 倉敷市生坂字木船1909番地7、 倉敷市生坂字木船1909番地31 1914番1 居宅 木造瓦葺3階建 1階: 121.03 m ² 2階: 105.06 m ² 3階: 13.66 m ² 延 239.75 m ²	2階の床面積は約88.46m ² 、3階の床面積は約32.36m ² であり、延床面積は約241.85m ² である。その他の事項は概ね同左。
物件番号	特記事項			
-				

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

(物件1～4の一体画地)

位 置・交 通	JR山陽本 線 倉敷 駅 の 北東 方直線約 3,700 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	倉敷市の市街地北東郊外の生坂地区に位置し、丘陵地勢に一般住宅が建ち並ぶ住宅地域を形成している。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化調整区域 用途地域 : 無 建 ぺ い 率 : 60% 容 積 率 : 200% 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : -	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 341.62 m ² 間 口 : 約 32.0 m 奥 行 : 約 20.0 m (南東～北西方向) 形 状 : 略台形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 西端～南端～南東端以外は略平坦	
接 面 道 路	方 位: 南東 幅 員: 約 5.0m 舗 装: 有 種 類: 市道 高低差: 東端で略等高だが南端で最大約2.5m道路より高い 摘 要: 42条1項道路 生坂12号線	
土地の利用状況及び隣地の状況等	物件1～4の一体画地は物件5建物の敷地として利用されている。隣地は住宅等である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガ ス 配 管 : 有 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	物件1～4一体画地の西端～南端～南東端はコンクリート擁壁となっており市道生坂12号線とは高低差がある。	

2 建物の概況及び利用状況等

(物件5)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 : 平成5年7月頃 (登記上) 経 過 年 数 : 32 年 経済的残存耐用年数 : 2 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : -
仕 様	外壁 : タイル貼り、吹付タイル仕上げ等 天井 : ボード貼り等 内壁 : ボード貼り、クロス張り等 床 : フローリング、タタミ等 その他: -
建 物 の 品 等	中上品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書記載のとおり
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	2階南東部分は現況がバルコニーとなっており部屋とは認められないため約16.6㎡を床面積に算入しないことが妥当と判断した。3階の南側及び北側にロフト部分があり、それぞれ約8.3㎡及び約10.4㎡を床面積に算入することが妥当と判断した。

第5 評価額算出の過程

Ⅰ 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 5.0m
 地 積 : 約 200 m²
 間口・奥行 : 約13m×約16m
 形 状 : 略長方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地
 そ の 他 : -

地域符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点修正 イ	標準化補正 ウ	地域格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	34,700	$\frac{100.2}{100}$	$\frac{100}{103}$	$\frac{100}{117}$	28,900	28,900
A	公示地 倉敷-73	公示価格 等の価格 時点から 評価日ま での推定 変動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なものに 補正した。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定した。	オ:ア×イ×ウ×エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
	28,900	0.832	1/1	341.62	0.95	7,800,000
1~4 (一体画地)	A地域	形状 0.88 方位 1.05 擁壁高低差 0.90 相乗積 0.832	-	登記数量	地域との適合性・ 敷地との適応性 等を考慮のうえ 査定した。	カ:ア×イ×ウ×エ ×オ

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分割合 イ	現況延床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
5 (主建物)	220,000 建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。	1/1 -	241.85 概測数量	0.05588 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	2,970,000 オ:ア×イ×ウ×エ
計					2,970,000

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 土地価格及び底地価格

物件番号	建付地等価格 (円) ア	底地等割合				土地価格・底地価格 (円) エ:ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等 法定地上権	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1～4 (一体画地)	7,800,000	-		1.000	0.50	3,900,000
		計	-	1.000	-	3,900,000

② 土地内訳価格

物件番号	一体画地の底地価格 (円) ア	各物件の面積割合 イ	各物件の内訳価格 (円) ウ:ア×イ
1	3,900,000	21.0%	820,000
2		24.3%	950,000
3		30.3%	1,180,000
4		24.4%	950,000

③ 土地利用権等価格

物件番号		建付地等価格 (円)	土地利用権等割合				土地利用権等価格 (円)
建物	土地	ア	細符号	土地利用権等 法定地上権	イ 面積割合	ウ 権利等割合	エ:ア×イ×ウ
5	1~4	7,800,000	-		1.000	0.50	3,900,000
			計	-	1.000	-	3,900,000

④ 土地利用権等付建物価格

物件番号	建物自体の価格 (円)	土地利用権等価格 (円)	土地利用権等付建物価格 (円)
	ア	イ	ウ:ア+イ
5	2,970,000	3,900,000	6,870,000

⑤ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件番号	底地価格及び土地利用 権等付建物価格 (円)	占有減価修正	市場性修正率	競売市場 修正率	その他減価	積算価格 (円)
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	820,000	-	1.00	0.70	1.00	574,000
2	950,000	-	1.00	0.70	1.00	665,000
3	1,180,000	-	1.00	0.70	1.00	826,000
4	950,000	-	1.00	0.70	1.00	665,000
5	6,870,000	1.00	1.00	0.70	1.00	4,809,000
一括 (物件1~5)	10,770,000	-	-	-	-	7,539,000
	上記①②③④参照。	必要なし	必要なし	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ:ア×イ×ウ×エ×オ

II 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等を考慮すると、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的であるとはいえない。従って、収益還元法を適用しなかった。

III 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域 符号 : A
番 号 : 倉敷-73
所 在 : 西坂字小瀬田1480番101
価 格 : 34,700 円/㎡
位 置 : 倉敷4500m (道路距離)
価 格 時 点 : 令和7年1月1日
地 積 : 205 ㎡
供給処理施設 : 水道、ガス
接 面 街 路 : 東4.9m市道
都市計画区分 : 市街化調整区域
用途 指定 等 : 無 (60、200)
地域 の 概 要 : 中規模一般住宅が存する郊外の分譲住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 7 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	1,210,950 円	
2	土地	1,403,533 円	
3	土地	1,752,683 円	
4	土地	1,408,943 円	
5	建物	3,722,332 円	

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面写
- 4 土地建物位置関係図

以 上

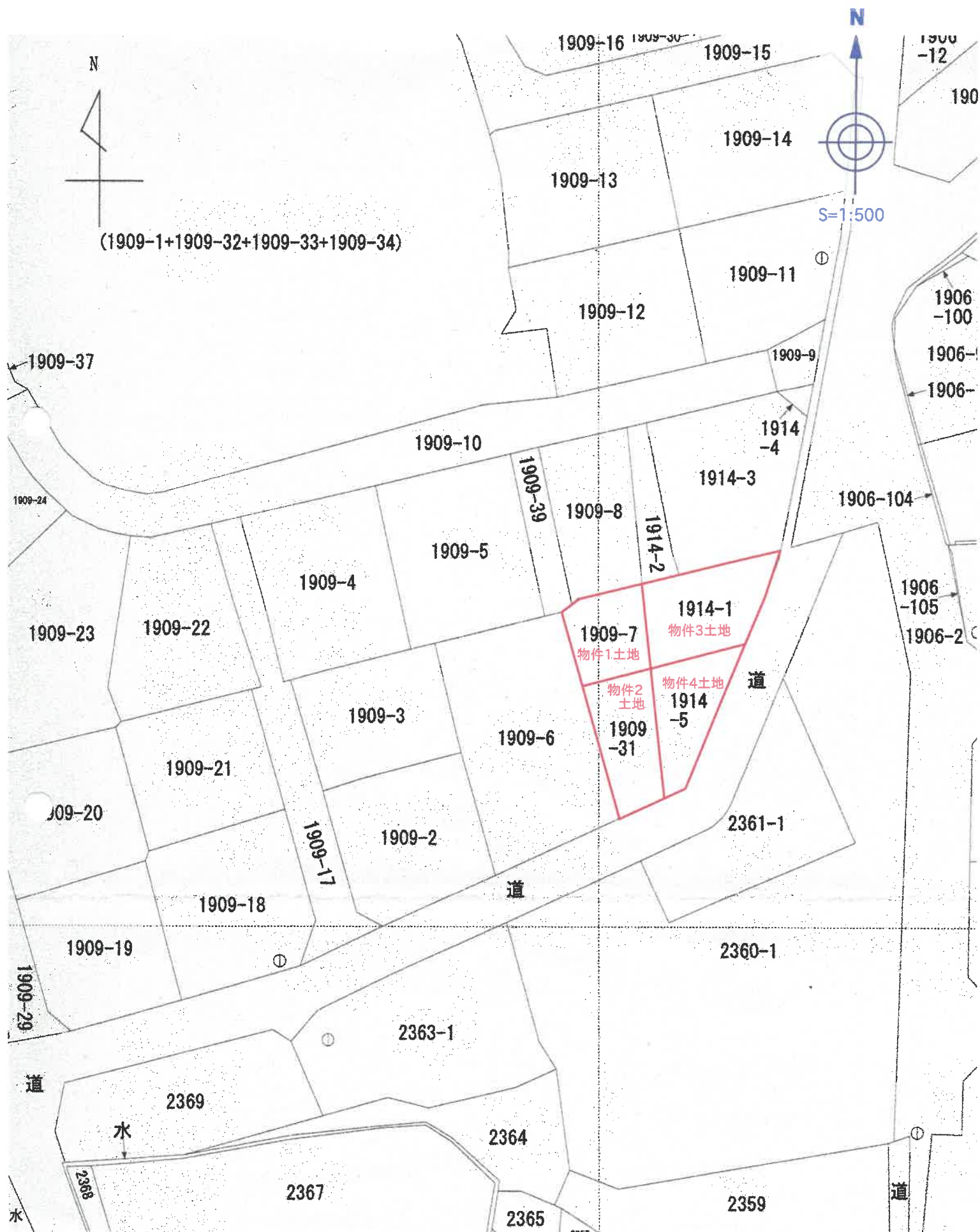
位置図



倉敷市統合型GIS「都市計画参考図」

位置图





登記年月日：平成5年7月23日

2017203

各階平面図

1914 卷 1

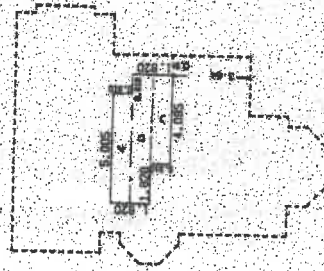
建築物の所在	倉敷市生坂字野宮	1914番地1	1914番地5
	宇木船	1909番地7	1909番地31

建各階平面圖 $\frac{2}{2}$

主 題 2 題



項目	金額	金額
① 10,040	9,910	9,108.00
② 10,360	2,740	26,482.00
③ 10,010	0,810	9,119.00
④ 1,190	1,130	9,520.00
⑤ 4,550	2,550	11,404.00
⑥ 1,137	0,557	0,580.00
⑦ 6,130	4,550	37,264.00
合計		105,069.00
		105,069.00

[illegible]

イロハ	5.005	=	0.910		4.554550
	5.815	x	0.910		5.392850
	4.095	x	0.910		3.728450
合計					13.683850
床面積					13.663㎡

作變者

1991

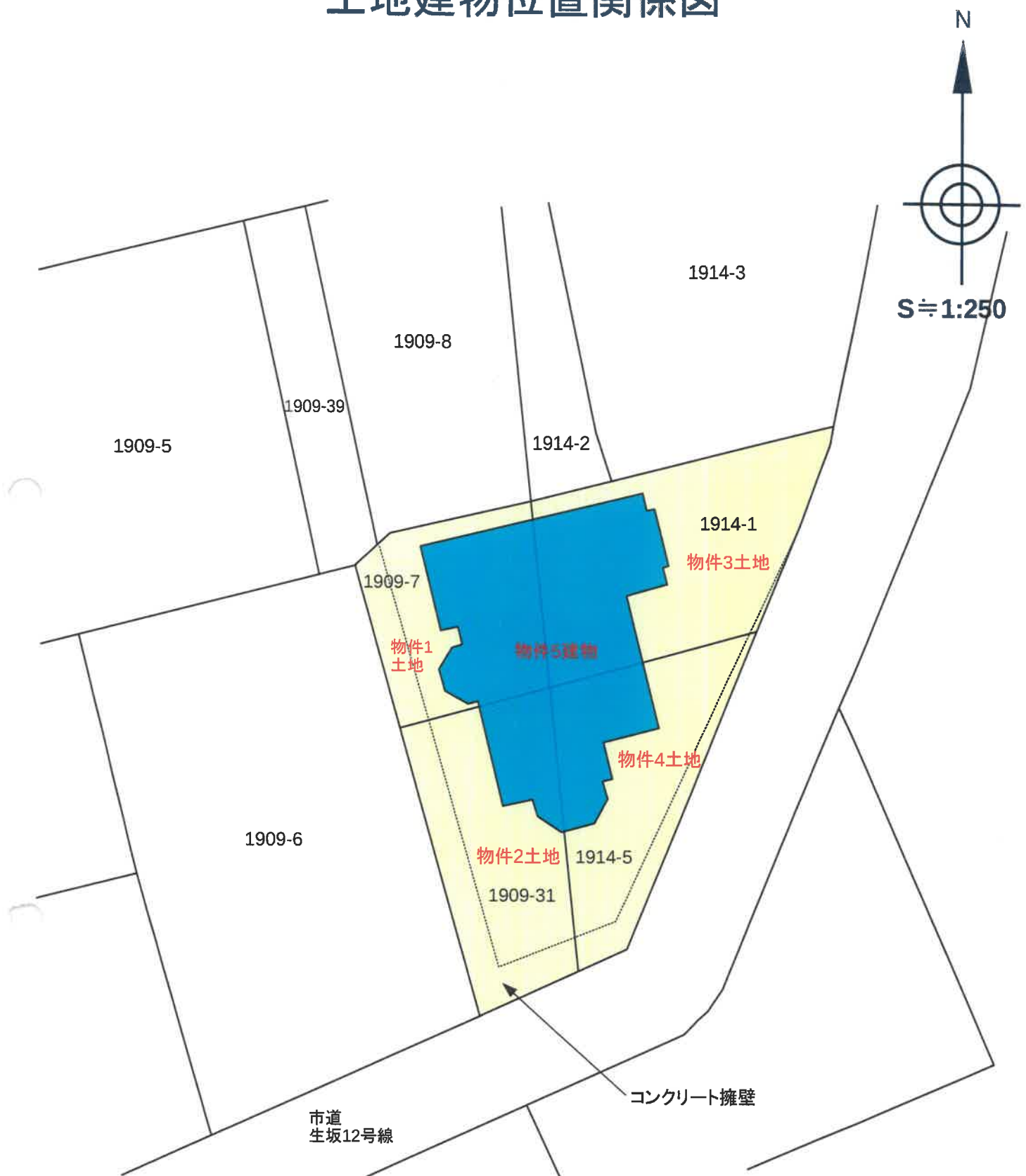
縮尺 1/250

人
類
學

英尺 $1/250$

(岡山県土地家屋調査士会用紙)

土地建物位置関係図



本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない